

退職者 NO.85

# こだま会報



## 高齢者医療・福祉の充実で 安心と希望の日本へ



尾瀬の夏 (栗飯原 茂さんの作品)

### 目次

- 総会報告……………①～④  
希望の持てる社会へ／来賓挨拶／生方代表幹事挨拶／経過報告／決算報告／監査報告／方針／総会発言／物故者名ほか
- 新役員紹介／横浜開港150周年……………⑤
- せいかつ短信……………⑥～⑬
- 趣味の会……………⑭  
歴史教室／こだま俳壇／手作り文化祭／予告
- 戦争中の体験記募集／真鶴共生舎を訪ねて……………⑮
- 援農体験／絵手紙／料理教室……………⑯

## 神奈川県職労連退職者こだま会第25回総会 (6 / 24)

力をあわせ希望の持てる社会へ

「退職者こだま会」は6月24日(水)、神奈川県自治会館で第25回定期総会を開きました。

会場には、『こだま会報』のバックナンバーや趣味の会のとりにくみを紹介した写真、俳句の会の短冊、県職員九条の会のとりにくみを紹介する写真などが飾られ、参加者は活動の様子を見入っていました。

\*\*\*

午後1時30分、幹事の山本文子さんの司会で開会。会員総数は1337人、出席者は47人(最終時は52人)、委任状660人で総会の成立を確認しました。

続いてこの1年のあいだに亡くなられた19人(3ページ参照)の会員の皆様へ黙祷をささげました。  
議長には計良竹次さんを選出し、議事に入りました。



開会あいさつで生方代表は、小林多喜二の小説『蟹工船』がブームになっていることに触れ、「非正規の労働者が増え、不況になると真つ先に解雇さ

\*\*\*

れ、住む所も失うという自分たちの状況を重ね合わせ、と指摘。「県庁でもワーキングプアと呼ばれる人が増えている」「力をあわせ希望の持てる社会をつくらう」と呼びかけました。  
来賓には県職労連や横浜市従退職者会、労金・共済・生保各社などから連帯のあいさつをいただきました。

続いて08年度経過報告(鳥居事務局次長)、同決算報告(加藤事務局次長)、同会計監査報告(木村監査員)が提案され、それぞれ拍手で承認しました。  
(2ページに続く)

### 生方代表幹事の開会挨拶 (要旨)



代表幹事の  
生方武羅夫さん

「おい地獄さ行くんだで！」で始まる小林多喜二の小説『蟹工船』が読まれています。横浜市立の図書館をインターネットで調べてみると、ほとんどが「貸し出し中」「予約中」

場所も失ってしまいう状況と、『蟹工船』に書かれていた状況に、自分の姿を重ね合わせて読まれているのではないのでしょうか。

も広がり、正規職員も賃金低下が進んでいると聞いています。しかし、みんな組合に結集してたたかっている。ここに明日への展望を

者が明日に向かって輝かしい暮らしができるよう、力を合わせましょう。希望の持てる社会をつくりましょう。

総会終了後は、2階の「ラウンジはま風」で懇親会。久しぶりの再会にあちこちで懇談の輪ができ、1時間余、飲物・軽食をとりながら交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。

\* \* \*

また、09年度活動方針案(山本副代表幹事)、同予算案(加藤事務局長)が提案され論議。参加者からは地域でのとりくみなどの発言があいつぎ、すべての議案を大きな拍手で承認。年金や医療、介護、税金、平和、趣味の会のとりくみなど、今年度の活動の目標と計画の具体化にむけ、元氣よくスタートしました。



趣味の会の展示コーナー

### 来賓あいさつ(要旨)

憲法9条と25条をまもる運動を

(県職労連書記長・蓮池幸雄さん)

今年3月に県庁を退職し、離籍専従として頑張っています。毎年2千2百億円もの社会保障費の削減が続き、国民のなかに大きな批判が広がり、派遣社員の首切り反対運動や憲法9条を守る運動も広がっています。「9条」「25条」のとりくみが重要になっています。

県立病院の独立行政法人化に反対し地域医療を充実させる運動では、6万5千人の署名が集まりました。みなさんのご協力に感謝します。ま

でした。

非正規の労働者が増えている、不況になると真っ先に首切りになり、職だけでなく住む

憲法11条は基本的人權、28条は労働基本権を保障しています。ワーキング・プアと呼ばれる人たちが県庁に

見ることが出来ます。国民が安心して暮らせる社会へ、力をあわせてチェンジしていきましょう。それは可能です。総選挙でのそれを第一歩として、高齢

た県庁では3%賃金カットや一時金カットが続いています。非常勤職員も2千人を超えています。県民本位の行政と職員の賃金・労働条件を守るたたくいに全力をあげます。

憲法をまもることは国家の義務

(横浜市従退職者会会長・森田謙一さん)

脳梗塞で倒れた会員さんを訪ねたら、いつまで病院に置いてくれるか心配だと話していました。後期高齢者医療制度は、高齢者を長く病院に置かない制度。高齢者は怒らなければいけない。2年前、犬が崖から落ち、「助けてやれ」という声があがり、助けられたことがありました。人間は、そうは行かないのでしょうか。北九州市では今年も、生活保護を打ち切られ「おにぎり食べた人」とメモを残して亡くなった人がいます。「憲法を守る」ことは国家の義務です。自民・公明政治はこれを脅かしています。一緒に憲法を守る運動など、行動して行きましょう。

ほかに、来賓として全労済県本部横浜支部の新倉さん、中央労働金庫横浜支店の水島さん、アメリカンファミリー生命保険の畑さんらが列席され、メッセージをいただきました。ありがとうございます。

### 各議案の提案

経過報告、決算報告、監査報告、方針案の各議案は事前配布(『こだま会報』第84号)のとおり提案されました。その要旨をお届けします。



#### ●経過報告(鳥居事務局次長)

高齢者切り捨ての冷たい政治に対し、後期高齢者医療制度の廃止と撤回を求める署名運動を進め、参院では廃止法案が可決しました。

県立病院を守り地域医療を発展させるための署名を進め、引き続き安全・安心医療の提供と医療水準の維持向上をめざす運動にとりくみました。

「趣味の会」のとりくみでは、



加藤利秋さん(事務局長)



鳥居伸太郎さん(事務局次長)



山本文子さん(副代表幹事)



木村武子さん(会計監査)

参加者が増えています。「生麦事件歴史探訪とキリンビール工場見学」(20人)や「秋の紅葉・伊豆稲取温泉1泊旅行」(21人)も好評でした。『会報』の大型化で「読みやすくなった」などの声も寄せられています。ホームページも充実させてきました。

平和をめざすとりくみでは「県職員九条の会」の結成3周年の集い(12月)や、地域の九条の会で会員が活躍しています、会員は1350人を超えました。引き続き力を合わせて頑張ります。

#### ●決算・予算報告(加藤事務局次長)

決算では、年会費加入者が91口になり、終身会費加入者は40人だった。昨年度に比べ減少していますが、定年退職しても非常勤として残る人が多いことが原因と思われます。支出では工夫をして事務局費や広報費、通信費などを節約しました。

予算案は前年度実績をベースにしました。収入が減った分、支出を押し下げました。戦争体験を語り継ぐための記録集づくりには、予備費で対応します。「長寿祝金」(仮)については、年齢をどこで区切るかなど議論

論百出でした。今後も論議していきたい。積立金会計は、昨年度とほぼ同額にしました。

#### ●会計監査報告(木村会計監査)

帳簿等もしっかり管理され、適正に執行されています。経費削減の努力も認められます。

#### ●運動方針(山本副代表幹事)

格差を増大させる新自由主義に反対する声が広がり、「派遣村」などのとりくみなどで要求が前進しています。年金や医療、介護保険など社会保障の充実を求め、高齢者の税負担軽減、平和運動の推進、各種共済の充実などにとりくみます。

「歴史教室」や「俳句教室」「囲碁同好会」「食文化を楽しむ会」「料理教室」「スキー・ツアー」など「趣味の会」をさらに充実させたい。また、戦争体験を知る世代が少なくなっています。「戦前・戦中の体験記」を募集し、文集にして、次世代に語り継ぎたい。『会報』のさらなる充実とホームページの充実も進めたい。みんなで力を合わせれば、世の中を変えることができる。がんばりましょう。

#### 役員改正(任期2年)で全員が承認

今年度は役員改選期にあたり、事務局から別表(5ページ参照)のとおり提案され、大きな拍手で承認されました。

#### 謹んでご冥福をお祈り申し上げます(順不同・09年6月24日現在)

柴田 勇 様 72歳	横山 民子 様 70歳	関口 良昭 様 79歳
小泉 宏之 様 76歳	田辺 典雄 様 67歳	井上 高治 様 79歳
橋川 勝司 様 78歳	横田 洋一 様 67歳	中原 四郎 様 76歳
古怒田富士一様 78歳	中島 義治 様 74歳	懸田 護 様 73歳
志賀 幸生 様 72歳	山口 昭三 様 75歳	浅原 ミヨ 様 83歳
森 融 様 79歳	根岸 絹枝 様 80歳	
佐野 貞雄 様 78歳	岩沢 実 様 82歳	

☆この1年間に連絡のあった方で、昨年の総会以前に亡くなられた方を含みます。

### 参加者の発言・意見



大貫多喜子さん

**運動をすれば  
成果につながる**  
消費された年金  
を取り返す運動  
を地域でしてい

る。社会保険事務所などに一緒に行き、100万円以上返ってきた人もいた。今度の総選挙では「後期高齢者医療制度」の廃止めざして頑張りましょう。歳をとったらバスを利用する機会が多くなる。横浜市の敬老パスのカード化問題(何億円もかかる)があり反対運動が盛り上がり廃止になった。いろいろ運動をしていけば成果につながる。9条を守る運動など、それぞれのところで頑張りましょう。



湯川 勉さん

**公共交通充実  
の方向へ**  
情勢を補強し  
たい。地球温暖  
化が問題になっ

ているが、日本は世界から非難されている。政府はエコ自動車購入者への補助をしているが、車は道路にあふれて、CO2の削減につながっていない。そのツケは、何年後後に消費税アップとなって回ってくる。自転車や徒歩、公共交通の充実の方向へもって行きましょう。



松本正治さん

**今年も1泊旅  
行で交流を**

参加し、大変満足した。参加費以上の分を楽しむことができた。今年度  
昨年「伊豆  
稲取温泉1泊旅  
行」はじめて



神奈川県職労連退職者こだま会  
第85回定期総会

もぜひ、1泊旅行を計画していただ  
きたい。



本山文子さん

**地方消費者行政  
予算の充実を**

消費者庁が発足することになった。  
20年以上も運動  
してきた。今秋、  
初めて消費者の目線の組織ができ  
る。地方消費者行政の予算の充実が

求められている。これまで相談員の  
拡充など実現してきたが、非常勤と  
いう身分で不安定だ。「身近なところ  
の相談窓口が大事」と自治体を回っ  
て運動をしている。



川井弘次さん

**年金通算問題  
の検討を**

確定申告の勉  
強を試みたら、  
平成4年と比  
べ、今年の収入は約58万円減ったこ  
とがわかった。税金は10万円も余分  
にとられている。10年前も5万円余  
分にとられた。年金の通算問題では、  
県庁ではかつて不安定雇用の職員が  
多数いて、労働条件も様々だった。  
共済年金との通算もまちまちになっ  
ていないか。「こだま会」事業のなかで、  
年金通算問題等を検討してほしい。



佐藤喜治さん

**知らないこと  
より知った方  
が良い**

横浜市では、  
敬老特別乗車券  
がもらえる。所得に応じ、70歳以上  
が対象で申請すれば支給される。知  
らないことより知った方が良いと思  
い報告した。また大船フラワーセン  
ターの入場料は大人350円、子供  
250円で、乗車証を示せば無料  
だった。小さなことかもしれないが、  
友達に勧めたい。

### 発言・質問への回答

●全体的に

6人の方から熱のこもった発言に  
敬意を表したい。どれも積極的な内  
容で、ご一緒に頑張りて行きたい。

●環境問題について

環境問題は大変重要と認識してい  
る。公共交通の充実のご指摘はその  
とおり。しかし、高齢者の足である  
「自動車」をなくしてしまうのはど  
うかと思う。環境問題への積極的な  
思いを真摯にうけとめたい。

●楽しい一泊旅行について

昨年のような楽しい一泊旅行の実  
施の要望を受け、活動に活かすよう  
検討したい。

●消費者行政の充実や官製ワーキン  
グ・プア

地方消費者行政の充実の重要性や  
官製ワーキング・プアの状況はご指  
摘のとおり。OB組織としてどのよ  
うな対応が出来るか検討したい。

●敬老バスについて

横浜市の敬老バスカード化は阻止  
できたが、中田市政の高齢者切り捨  
て政治は明らか。機敏に対応してい  
きたい。

●「九条の会」の運動

会員のみなさんの地域での「九条  
の会」の運動への参加に敬意を表し  
たい。

# 楽しく豊かな「こだま会」をめざします

## 2009年度 2010年度の役員紹介(敬称略)

氏名	役職名	主な担当
生方武羅夫	代表幹事	全体の総括
青沼 慶祐	副代表幹事	総務・ホームページ他
加藤 利秋	副代表幹事	総務・関連運動団体他
山本 文子	副代表幹事	文化・レク・平和
鳥居伸太郎	事務局長	事務局の執行管理・総括他
田口 清	事務局次長	事務局長補佐他
鳥海 敏雄	事務局次長	会報編集責任者
秋中 一允	幹事	庶務
雨宮 和雄	幹事	会報編集
飯塚 武弘	幹事	会報編集
稲本 春雄	幹事	県退職者会監事・かもめ会幹事
井村 友彦	幹事	俳句・農業体験
叶井 進一	幹事	レク
川瀬 秀雄	幹事	会報編集
小出 晴美	幹事	援農体験・農業を楽しむ会
菅野 健児	幹事	レク
高木 信幸	幹事	かもめ会副代表
松尾佐知子	幹事	会計・共済事務責任者
宮下 光	幹事	県退職者会幹事
本山 文子	幹事	かもめ会会計監査
山本 裕	幹事	県退職者会幹事
木村 武子	会計監査	会報編集
辻村 博	会計監査	
鈴木 三郎	相談役	



新旧役員のみなさん

皆さんよろしくお願ひします

今総会は2年毎の役員選任の年に当たります。高橋トシエさん、登豊吉さん、吉澤靖夫さん、米山東伊さんは今回退任され、地域の活動などにとりくまれます。また鈴木三郎さんは永年の経験を生かしていただくために相談役に。事務局長が長かった加藤利秋さんが副代表幹事に、代わって事務局次長の鳥居伸太郎さんが事務局長に、事務局次長に新任の田口清さんが、新任の幹事に小出晴

美さん、高木信幸さん、松尾佐知子さん、山本裕さんが加わりました。構造改革で高齢者の生活に格差と負担が持ち込まれ、年金・医療・介護に不安が増しました。夏のまつただ中に国民の役に立つ国会議員を選ぶ衆議院選挙を迎え、新しい時代に歩みを進める事でしょう。私たち新役員は結束して、楽しく豊かなこだま会活動を続けます。ご支援、ご協力をお願いいたします。



帆を全部広げるには約1時間、たたむのにも1時間かかるそうです。結局、総帆が見られたのは1時間。ラッシュ並みの人出でした。  
(木村武子)

真白な帆がすべてのマストに張られました。青空にすがすがしい姿。貴婦人とも言われる純な姿。

横浜開港150周年記念で、帆船「日本丸」と「海王丸」が連れだって大棧橋に來ました。7月20日(月)、午後1時〜4時に総帆展帆。

大棧橋に帆船  
真白な帆と  
青空と

横浜開港150周年

総会への出欠葉書に寄せられた「短信」をお届けします。全体で201人から寄せられ、掲載者は167人(昨年133人)です。「会」への要望や提案をはじめ、元気で勤めの方やボランティア活動に励む方、ゆつたりと生活を楽しむ方、本当に喜ばしい限りです。一方、高齢者医療問題や「九条の会」等で奮闘されている方、闘病中の方も見られます。紙面の都合で、「総会のご成功を」「幹事の皆様、ご苦労様」などの趣旨は割愛させていただきます。順不  
 同で、一部省略や文字の変更をしております。  
 (編集部)

## せいかつ短信

体調不良で歩行困難。リハビリ訓練中です。またいやな核実験が始まりましたね。核兵器廃絶の署名運動に参加しましょう。  
 (明田剛一)

腰痛で出席できません。特に生方さんとお会いしたいと思っていたのですが残念です。  
 (山下貴美男)

出席したいのは山々ですが、年老いてきますと体が自由にならず本当に情けないです。  
 (坂本孝八)

満78歳を過ぎました。早いもので、79歳の平均年齢、80歳に向かわんとしています。心身ともに元気です。  
 (小笠原勇)

卒寿を迎え、身体的欠陥の広がりを感じます。  
 (建畠富廣)

『会報』を見るのがとても楽しみです。16年前退職後、13km離れた所に30アールの農地を借り、誰にも会うことのないところで、一人で農業をしています。話し相手は野鳥、野獣、

野草で、一昨年はハリネズミを捉えて自然環境保全センターに届けました。畑を一人で耕していると、病院に通院する時だけが社会の空気に接する機会で、今になって生き方を反省しています。  
 (片木和雄)

私も84歳になり、体調不良により自宅療養中です。  
 (朝井信義)

相模地区リーダーは地域の北相支部組合員と卒業した元組合員の再会・交流の場でもあります。来年も多くの参加者でふれあいを深めたいです。県北の相模湖ダム建設殉職者・殉難者の合同追悼会は今年で31回目となります。  
 (太田 頭)

孫の世話と趣味の園芸と農業に、毎日忙しく過ごしています。  
 (小澤ミネ子)



この10年間、専門・大学(福祉)の講師を務め、この3月で退官。現在は孫の保育者(?)、農事、研究会(児童福祉)など、まだまだ忙しく(?)働いています。福祉施設への関心を強くしていただけだと思います。  
 (大須賀 力)

2週間に1回、映画鑑賞・海釣りを楽しんでいます。  
 (仲戸川 実)

現在、病院通いです。(古郡義男)79歳。パソコン・デジカメ等を友とし、ウォーキング等で体力の保持に努め、人生の賞味期限までガンバります。  
 (平野拓男)

後期高齢者の仲間入りをしました。が、おかげさまで元気に過ごしております。  
 (大井昭男)

『会報』等の情報をいただき、元気をもらい、おかげさまで月2回程の出勤ですが、秦野市荒廃農地解消ボランティア9年目。あと1年以上、続行めざしています。  
 (伊東 久)

私は昭和3年生まれ。現役を去って20数年。その間、自治会長・老人会長を勤め、本年3月末、フリーとなりました。趣味はゴルフ・カラオケ・旅行で、元気で頑張っています。  
 (佐藤 肇)

所属している障害者支援団体の総

会と重なってしまい、残念ですが欠席します。  
 (石井紀男)

5月に元同僚4人でフランスへ。終戦記念日の祝日にあたり、国旗や迷彩服が目立ちましたが、冷静なものでした。農業国を実感しました。観光も楽しかったです。こうした仲間に出会えた職場と、時代に感謝です。趣味で合唱をしています。1年間に6回のステージを経験。若い方たち、先輩の方たちからエネルギーをもらっています。9月にイタリア・クレモツの大聖堂で演奏します。12月には東京の杉並で演奏会があります。「こだま会」へは入会したばかりです。今後、行事に参加したいと思っています。  
 (高木みどり)

窓から降るようにやってきた猫。突然、娘が持ち帰ってきた黒ラブの子犬。飼育に朝から昼まで時間を取られ、自由になる時間は午後から就寝までという毎日を送っております。老妻と2人で頑張っております。が、何時まで続くか心配です。犬猫に負けないよう健康に注意して、長生きしたいと思う今日この頃です。  
 (遠山 淳)

胃がんの手術後、体調が思わしくありません。  
 (林 和平)

自治会の防犯部の一員としてパトロールしています。  
 (篠崎惣一)

非常勤3年間も含めて、退職後既に12年経過し、疲れ易い年齢の日々を過ごしています。(荒川克彦)

先日ペルーに行ってきました。リマでは(日本人・天野芳太郎氏が研究採集した天野博物館で)プレインカ文明にふれ、ナスカの地上絵をセナ機から観ました。次は(ミニガラバゴスと言われる)パシエスタ島で海の動物やたくさんの海鳥を観ました。それから飛行機で移動。かつてのインカ帝国の首都・クスコ(海拔3400m)に。このホテルはコテージ風で、花は咲き乱れ、素敵な所でした。その次はビスタドームという観光列車で、一番の目的地・マチュピチュに。心配していた海拔の高さも特に問題なく、インカ道も歩きました。最後に、チチカカ湖に浮かぶタクス島を訪ね、トトラという葦でできた浮島など、独特な生活様式を観た世界遺産満喫の旅でした。健康に感謝です。(天羽忠子)

私の住む目黒区主催の「囲碁入門講座」受講後、週2回、(水・日の午後2時間ほど)ボケ防止のためへば仲間と「老人いこいの家」などで囲碁を打っています。年金暮らしのため、この位のことしかできません。『会報』は毎回楽しく読ませてもらっています。(石原健二)

元気で生活しています。(稲垣和成) 定額給付金支給の通知が届きました。最初の案内(記入例)どおりに出したところ、再送付書が届き、「振込み後のコピーをとって送ってください」とあり、コピーをとったため、2万円を割ってしまいました。相変わらず、1日の中、8時間の2分の1は本読みで過ごしています。

多忙にかまけて存分に働いていたら、年齢相応に身体はダメージを受けていたらしく、人並みに心筋梗塞で彼岸近くまで行きました。が、閻魔大王様の粋な計らいで?、鬼籍に入れてもらえず、現世に居ります。いましばらくよろしくお願ひします。(小山兼治)

『会報』をいつも楽しく読んでおります。おかげさまで昨年、喜寿を迎えることができました。が、趣味の太極拳もぐらつくようになり、健康第一と仕事(たいしたことはありませんが)を少しずつ減らそうと思っております。(吉井 進)

近くのスपोर्टクラブに通っております。(杉山茂夫)



孫の世話と家事で多忙です。(家城レイ子)

腰椎すべり症があり、手術を勧められています。手術はしたくないので、スポーツセンターで腹筋、プールでのウォーキング等を楽しみながら行っています。とめられているスノーボード、ボディボードができるよう頑張っています。(細川廣美)

囲碁同好会で登さん、青沼さんにはいつもお世話になっております。特に登さんの初心者指導に労を惜しまない姿には本当に頭が下がります。(箕輪静雄)

今年の秋に第2の人生を退職し、ほっとしています。現在は地元老人会のスポーツクラブの仲間入りをし、楽しんでいきます。(加藤房尾)

『会報』楽しく読んでいます。(平本祥子)

神奈川県森林組合連合会林業センターで、県産間伐材の検地作業に従事しています。県下の森林が活性化するように努力しています。ご支援を願ひします。(紅葉淳一)

『会報』は楽しく拝読させていたただいております。特に「会員紹介」は懐かしく昔を思い出させます。今回亀井さんとは、大和保健所で一緒

に働かせていただきましたので懐かしさ倍増です。小生も大田区で子育て支援事業のボランティア活動をしています。(笹原 勇)

80の坂を越えることは大変なことですね。膝痛に悩まされていますが、頑張りたいと存じます。(早川幸子) 敬愛する恩師(元学生課長)の訃報に接し、改めてその存在の偉大さを認識しています。会員の皆様様、それぞれの思いを抱くものがおります。どうぞお元気で、「我ここにありませぬ」をご教示下さい。(石川清子)

マイペースで動いております。小旅行を楽しんでいます。(岩井秀子) バスや電車を乗り継いで出かけるのがだんだんと億劫になりました。地域では絵画(17年)、農ある暮らしで大豆や味噌づくりの会(10年)、そして家庭菜園に柿・梅など粗放果樹が実り、交友に役立っています。そして加工も。土を大事にしたい。春には、こぼれ種の花が一杯咲きます。

「いつまでやれるかなあ」と思っています。(遠藤正子) 仕事をやめてから体重が増え、立派なメタボになってしまいました。医師から「痩せなさい」といわれ、食べる量を減らし、毎日70分間のウォーキングを続けて、2ヶ月でマインナ4kgです。病気になるまいよう頑張ります。(小澤加代子)

仕事をやめてから体重が増え、立派なメタボになってしまいました。医師から「痩せなさい」といわれ、食べる量を減らし、毎日70分間のウォーキングを続けて、2ヶ月でマインナ4kgです。病気になるまいよう頑張ります。(小澤加代子)

ショートステイの利  
用が窮屈になり、なか  
なか外出も困難になり  
ました。84歳の祖母の  
介護もありまして、  
私自身は元気です。

(野沢秀子)

総会には出席して懐  
かしいお顔を拝見した  
のですが、女房が車  
椅子のため長時間の外  
出ができませんに残念で  
す。

(松本吉弘)

4月から5月15日の間、我家に滞  
在した長女と孫は、72歳の私に幸せ  
をくれました。NZに帰国。「じいじ」  
は淋しくて困っておる状況です。

(伊藤 治)

町のゲートボール協会の代表とし  
て頑張っています。(堀内 薫)  
1月より娘宅におりますが、夏に  
は元に戻りますので住所は変えてお  
りません。夫が入院中で、看護に追  
われています。(平能芳子)

田舎に住んでいることもあり、総  
会や趣味の会には、残念ですが見送  
るばかり。『会報』等を楽しみにして  
います。俳句は、投句等もあると参  
加できるのかなとも考えています。

(松村久代)

3年前、両股関節を痛み歩くこと  
ができず、2年程通院し痛みも和ら



北海道スキーツアー

ぎました。その間、歩か  
なかつたツケで足が弱く  
なり、身の回りのことは  
できませんが、家事・お使  
いに不安が生じました。  
今回、思いきって熱海の  
温泉付マンションを購入  
しました。温泉は塩分も  
少なく、神経痛や疲労回  
復には良いとのことでした。  
たので思い切りました。

80年間、横浜で生まれ

育った者には気持ちの上でも淋  
しく、考えたうえで思いきって移る  
ことにしました。(元木紀恵)  
いろいろな情報をいただけるの  
で、有り難く、知っている方のご活  
躍を知ることができると嬉しいう  
です。

(石田啓子)

視力が落ちて困っています。昨年  
10月半ばに、肩を骨折し現在リハビ  
リ中ですが、何とか元気にやってい  
ます。週3回、ヘルパーさんに来て  
もらっています。(吉澤良美)

(吉澤良美)

忙しくもなく、暇でもない日々を  
過ごしています。趣味は釣りのほか、  
卓球はほぼ週5日、健康・試合のた  
めにやっています。(西原明夫)

(西原明夫)

5月24日「全国植樹祭かながわ2  
010年」。かながわプレ大会200  
9年に、森林インストラクターでお  
手伝いにいってきました。一般の皆

様とヒノキ・イロハモミジ・カツラ・  
ケヤキ・ヤマザクラ・ヤマボウシの  
合計610本植樹しました。雨でし  
たが、植樹して喜んで皆様がバスに  
乗っていかれた時の顔が嬉しかった  
です。自然環境保全事業の自然観察  
会など、ハンノキ会で実施してい  
楽しんでいきます。(増子忠治)

(増子忠治)

元氣印で生活しています。でも「出  
かけることは少しね」と言うよう  
になりました。(橋本マツ子)

(橋本マツ子)

今年は正月早々インフルエンザに  
かかり、めったに行ったこともない  
病院でタミフルとかの特効薬で軽く  
すみました。そしたら今度はテニス  
のやりすぎで、膝を痛めてまた病院  
に通いました。この数年間、小学校  
の同期生10数人で年に3回、大平荘  
で盛り上がり、月1回カラオケで懐  
メロを歌っています。(小林泰夫)

(小林泰夫)

昨年手術を受け、少しの間入院し  
ておりました。今は回復しておりま  
す。人間誰でも生老病死、これは避  
けられません。若いときは病気をし  
なくても、歳をとればお医者さんに  
かかる回数が増えるのは当たり前で  
す。こんなとき、私達にとつて後期  
高齢者医療制度など有難迷惑です。  
1日も早く、この制度の廃止を望み  
ます。

(市川忠勝)

主人が糖尿病で長年病院にかかっ  
ています。いま透析寸前です。教育

的入院を勧められています。休  
を取る仕事をやめなければなりま  
せん。毎日、糖尿病食、腎臓病食を  
配達してもらっていますが、保険が  
ききません。健康保険が使えたら  
いいなと思っています。(桜井るみ)

(桜井るみ)

瑞穂の国を大切に、食材はすべて  
自前で。ないものねだりは国を滅ぼ  
すことになるのでは。日本国万歳に  
感謝します。(大野知多夫)

(大野知多夫)



総会後の懇親会で交流

社会的にゲートボール人口減少の負い目であり、私達も三春町混合チームによって続けてきました。昨年春、町内会役員会の力添えを頂き、6丁目単独チームを結成。今年には市連盟の大会に参加することになり、老体にムチを打って監督を務め頑張っています。(河久保矩夫・84歳)

平成5年に脑梗塞になり、右半身不自由になりました。(石塚幸男)

生涯、現役マラソンランナーであり続けたといと、毎月2百km〜3百km走り続けています。(渡辺雄之介)

『会』への意見は特にありませんが、継続が安心材料です。『会』の事業への参加もできるうちにしたい。事業内容だけは知らせてください。再々職場(調理師専門学校)で、現役時代の経験を財産に教育の一翼を担っています。今は学生・生徒との交流と、一人前の職人を育てることが生きがいです。(沢谷広志)

少々時間が過ぎますが、昨秋、老人6人で散歩方々東京工大すずかけ台キャンパスを訪ねました。そこで「シーラカンス」の剥製及びホルマリン槽のものを見学しました。デボリン紀(約4億年前)に出現した魚類の現生種に触れ思わず人類の未来はいかにと感じました(年寄りの冷水かな)。孫息子1、孫娘2の成長を楽しみに、夫婦では伊豆の温泉めぐり

を楽しんで、年齢よりも健康で静かな生活の日々です。(日比野貞美)

近隣の児童公園を公園愛好会の代表者として、13人のボランティアの方々と花壇管理や清掃活動に励んでいます。(市川 清)

『会報』を楽しく読ませていただいております。退職して7年目、年金組合のサークル活動や「九条の会」町内会の活動など何かと忙しい毎日を過ごしております。(井坂房子)

元氣です。(小林文夫)

体の動くうちはと、あちこち遊び歩いていますが、5月半ば、「奈良万葉の旅」を散策しました。「み吉野の象山みやまやまの際の木きのみ末すえにはここだも騒ぐ鳥の声かも」(巻第六 九二九)。山部赤人の歌ですが、象山を眺めていたら、その自然の写し方そのもののであると感じました。小鳥のさえずりさえ今も古も変わらないなあ：と。(榎田富久子)

日本の将来が危ないから、働く者の味方になって夢がもてる社会になるように切に希望してやみません。(山田勝平)



料理教室

『こだま俳壇』楽しみにしています。特に知人が投句していてなおさらです。皆、うまいね。(田野倉一夫)

細々と年金生活。でも健康で元氣で楽しい毎日です。家庭菜園のキャベツも大きく成長。無農薬なので、虫さんがおいしいおいしいと食べにきます。まあいいか、まあいいよと、のんびりゆったり過ごしています。(塩澤三郎)

今年の10月から、地方税は年金から天引きしてくれるとの事である。老人に対して親切であり、いたれりつくせりである。我々老人はこのような親切的な制度に感謝しなければなるまい。一老齡年金少額者より。(村崎亮一)

健康体操教室を主宰しているほか、配食サービスボランティア活動もやっています。天気の良い日には、地元でテニスなども楽しんでおり元氣に過ごしています。(塩原國雄)

『会報』ありがとうございます。元婦長の横川さんの俳句が毎号とても楽しみです。(曾我芳子)

1月に変形性膝関節症の手術をして、リハビリに追われ、最近足も歩けるようになって元氣で過ごしています。後期高齢者には厳しい世の中ですが、アンテナを高くして、老

い込まず前向きに生活していきたいと心掛けています。(鈴木志げ子)

『会報』を拝読しております。退職後10数年になっても、『会報』を見ると気持ちが引き締まります。経過報告や会員の活動など勉強になります。最近、朝の起床時、腰の痛みを感じますが、まだ働いております。グブアツプするまで。(増村一夫)

元氣に生活しております。旅行も、海外を含めあちこちに行っております。体が元氣なうちに、充実した生活を送りたいと思っております。(天野幸夫)

『会報』を楽しみにしています。退職して、今年古希を迎えます。体に充分気をつけて頑張ります。(玉井アツ)

女房の介護をしながら、元氣に日々を送っています。(小林敬爾)

元氣にしています。『会報』を楽しんで読んでいます。(伊藤りつ子)

体調がすぐれず、目下通院中です。年金生活者となり、ジョギングの時間も増えました。(菊田 勲)

小康を得てやっております。(戸村五郎)

元氣で町内会のボランティア活動(高齢者世帯等の草取り、植木の剪定等)をし、町内の公園清掃活動をしています。(田中明男)

藤沢県税の再任用も3年目に入りました。あと1年です。なんとかがんばっています。(岩柳良雄)

通勤していた頃は、駅の階段の昇り降りも軽々としていたのに、今では手すりにつかまりながらの状態です。足腰が弱らないよう、万歩計をポケットに入れて、なるべく歩くようにしています。いつまでも介護を受けることなく暮らして行きたいと願うこの頃です。(田中和子)

3月に80歳の太台に。豚インフルエンザ、必要のない定額給付金(孫たちが将来、返済に大変、核実験等、やかましい世の中になりました。静かに暮らしたいものです。(木島良夫)

『会報』をいつも楽しみに見えています。(行谷愛子)

弔慰金廃止について。弔慰金までも手を出すことは止めましょう。「こだま会」の存続にも触れる。(田嶋昌八郎)

年末12月27日には満75歳になります。おかげさまでどうやら無事、永らえております。(鈴野ルリ)

『会報』に知っている方のお名前を見つけると嬉しい。老父のお世話で、行ったり来たりして元気です。退職後、ピアノを習って早6年。何でもやってみるものです。(三宅杏子)

神奈川県から静岡県へ転居しました。「こだま会」の集まりには欠席ばかりで相済みません。「こだま会俳句会」と自動車保険で県職労連と繋がっています。(中村桂子)

地域の老人会でボランティアやら、何かと動き回っています。健康で楽しい人生を。yes we can「願わくば2、3日寝てポックリと。そのとき百歳。人生万歳」(浜島正範)

4月1日から非常勤職員として、県立金沢総合高校に勤務しています。(野村晴男)

毎日充実した時を過ごしています。(杉崎明美)

82歳になりましたが、元気に横浜の診療所で働いております。(江元 操)

主人(四朗)は今年2月17日に亡くなりました。生前は「こだま会」総会に参加し、皆様にお会いすることを楽しみにしておりました。亡くなる直前まで、海外旅行やウクレレ演奏、ハイキング、折鶴の会と忙しく生活をエンジョイしておりました。どうぞ、皆様も健康で活力のあ

る老後をお暮らし下さい。(中原八重子)



碁大会

おかげさまで元気に日々を送っています。認知症の母(92歳)を施設に入れていますが、面会は4日に1回位実施しています。エンディングノートを参考に、今後の生き方・在り方を思索しています。1日1日が大切と切実に思う毎日です。幸いなことに友人に恵まれ、切磋琢磨できることに感謝です。皆様も心豊かにお元気に前向きに日々をお過ごし下さいませ。(今井洋子)

出会いとハプニングを期待して、1昨年のアイランドに続き、今年はスコットランドを車で1周すべく準備を進めています。海外に行くたびにすばらしい日本がよくみえます。(川口 凌)

70歳代後半になり、色々な老人病と同居しています。毎日さまざまなお仕事に追われています。(佐藤七夫)

家庭菜園で、今年もたまねぎの収穫があり、子どもたちに配りました。たまねぎの料理方法も体験しています。(鹿郷真弘)

機会をみて、趣味の会に参加したいと思えます。「戦争体験を語り継ぐ」という活動計画に賛同します。

聞き書きボランティアの活動を始めましたので、協力できる事がありましたら、年配の方で書くのが億劫という方には語ってもらい、記録にしておく方法もあつていいのではないかと思います。(宮澤恭子)

『会報』ありがとうございます。何時も楽しく、何回も読み返しながら拝見しております。懐かしいお名前を見るたびに涙がでるほど嬉しく、飛んで行きたい思いです。足腰が弱り、遠方のため残念ながら総会に出席できません。(湊ふみ)

おかげさまで元気にしております。『会報』を楽しみにしています。皆様より元気を貰います。(上田豊子)

埼玉県に移住して1年足らず。シルバーテニス同好会に入り、1週間に3回汗を流しています。その後のビールの味は格別です。(原園範雄)

再任用の3年間、職場にいて組合を退会の上「こだま会」に入会しました。時間を有効に使いたいのので、趣味の会等ももっと沢山あるといいなと思えます。『会報』等と同趣味会を募り発足させるなど、工夫したらと思えます。(阿部六郎)

元気で過ごしています。(長田松子)

気力・体力・記憶力の衰えを感じる今日この頃です。肉体は老いて行くけれど気持ちは強く持たなければと思っています。

(松本洋子)

母の介護の日々です。(和多田悟) 日々、自分の体を守りながら、趣味三味の生活をしております。まだ頭も手も口も動くのですが、「ちよつと」ということで総会を欠席させていただきます。

(榎本恵美子)

85歳になりました。元気で暮らしております。

(歌川安子)

『会報』をいつも楽しみに拝見しております。足腰を痛めております。

(越水悦子)

退職後早15年が過ぎようとしていますが、現在も勤務し、1週間に4日仕事をしています。(川島 大)

元気にやっています。(長田茂夫)

現役時代から歩き始めた東海自然歩道。東京の高尾山を出発して1回に2泊3日の行程で26回目。5月12日に終点の箕面市の明治の森箕面国立公園に到着しました。仲間は9名。65歳から72歳。出発した時は50歳代だったのに。箕面市から完歩記念証を頂きました。

(戸塚 忠)

健康にもまずまず生まれ、元気にやっております。現役時代の延長のつもりで、ものづくりを趣味にしています。『会報』84号6頁の「来し方のこと」筆者の自分史のミニ版とし

て実感がこもっています。7頁の「曽我兄弟物語」、興味がもてました。研究し、仇討ちの場もよく見ました。

(花崎孝男)

最近は何親(2人とも92歳)の介護に明け暮れています。親のプライドで介護保険サービスを拒否するの

(河合幹彦)

で困っています。『会報』の送付、有難うございます。転居して田舎暮らしを楽しんでおります。

(松村美知子)

再任用で、県央地区県政総合センター森林保全課3

年目です。

(阿部 豊)

昨年は「歴史探訪」に参加して会員の皆様と楽しく勉強しました。今年も開催されまし

たら出席します。懇親会も懐かしい先輩に逢えて楽しい話ができるのですが、出られずに残念です。

(新倉仙太郎)

『会報』を送っていただき有難うございます。年々、歩行が困難になってきました。

(船橋まさ子)

コーラスに太極拳にと、健康には注意しています。定年後9年。まだフルタイムで働

く機会が与えられているので、もう少し頑張るつもりです。(福原 忠)

(安田早美)

『会報』を送付いただきました。有難うございます。

(高尾光洋)

第2の職場と家庭菜園で頑張っています。昭和60年時の代表幹事は秦謙二郎

さん。当時私は幹事でした。役員会で会の名前をつけることになり、役員のみなさんと考えました。私の考

えた「こだま会」に決まりました。選ばれたことを光

栄に思っております。

(横山善助)

お世話になった方が『会報』に登場されていると、懐かしく当時のことが目に

浮かんできます。私も退職して10年になります。今年

から骨董市に出かけて昔の着物を買ひ、着物で作る袋

物、ベスト、キーホルダー

など、店に置かせて売ってもらって

おります。特に売れるのはサイフ、

根付袋物です。買ってくれる方は喜

んでくれます。みなさん、着物

などは捨てずに活用しましょう。

(奥津弘久)

今年には横浜開港150周年。この

記念の年の3月に、趣味の書で個展

(ミニギャラリーで30点ほど)を実

施することができました。なお、秋

(9月22日〜28日)には大倉山記念会館ギャラリーで、年金者組合港北支部の文化展の8回目の実行委員を務めます。おかげさまで日々多忙に、無事に過ごしています。3病を友に。

(鶴田賀陽子)

アルバイトをしながら地元自治会の役員、「九条の会」、「ミニバスを走らせる会」の運動をシコシコやっています。会員諸氏のご健康をお祈りいたします。

(菅野明雄)

皆様お元気ですか。私もちよつと腹が出て前立腺肥大ぎみとなりました。週2日鎌倉に行つて働いていま

す(飲み代稼ぎ)。日ごろは「革新懇」、「九条の会」など大和市内で地元の人たちと力を合わせています。持ち

回りの自治会長もやっています。趣味の書道と謡と、結構忙しいです。

(岸 靖之)

現在、歩行訓練等リハビリ続行中です。歩行が不自由ゆえ、『会報』の趣味・旅行記が楽しみで

す。(仲川栄一)

毎日、内に外に忙しくて優雅な暮らしはできませんが、「歩こう会」に入つておりますので、参加して発散

しています。

(加藤登喜)

今年には喜寿なのに厄年で、1月から入院2回。やっと少し元気になつたのに、背骨を圧迫骨折してしまい、

ギブスをしています。

(永井光江)



伊豆稲取温泉一泊旅行

「弔慰金廃止」は賛成します。また「祝金制度」はその内容がわかりませんので、何ともいえませんが、必要ないと思います。(後藤貞夫)

この歳になってまだ仕事を続けています。週3日出勤し、事務も1人でこなしていることが健康の源かと思えます。1人なので、相談する人がそばにいないので困ること、少々ボカも出ます。チェックしているのですが、集中できず散漫になるからでしょうか。なかなか防げず困ります。己の他に頼るものなし。自分のみか。(尾田喜作)

郷土史と宗教史を研究しています。「歴史講座」の現地研究会に参加したいと思っていますが、なかなか出かけられません。興味あるテーマでもあります。機会をみてぜひ勉強したいと思っております。(金子信男)

『会報』を楽しみにしています。住所不定のため参加できませんが、知人の様子がわかり大変役に立っています。6月末は鳥取・島根へ移動。7月は静岡・神奈川・長野を行ったり来たりの予定です。土・日の高速料金千円をフル活用。外国はタダのところが多いのに。(大石勝彦)

障害者生活23年、ベテランになりました。おかげさまで何とか生きています。(大津定久)

毎日忙しくしていますが、体力の低下に反抗しています。みなさん、温暖化防止のために資源を大切に。21世紀縄文文化人になりませんか？ゆとりぎの巴。(小越信子)

社会情勢悪化に伴い、後期高齢者いじめも強く、医療費3割はきびしく大変です。「こだま会」総会に出席したいのですが、膝痛で歩行困難です。いい医者が見つからなくて困っています。いろんなサプリメントや整形に行っています。お金がかかって大変なのです。(中村みき)

大野山牧場の「まきば館」におります(土・日)。お孫さんと一緒にお出かけ下さい。(米持 汎)



生麦事件歴史探検とキリンビール工場見学

森林保全推進員や自然公園指導員、バードウォッチングなど健康保持のためボランティア活動を続けています。(塩沢徳夫)

元気で毎日忙しく過ごしています。元気でボランティア活動をしています。色々学ぶことが多く、大変参考になります。(七宮 清)

退職後20数年、『会報』をご送付いただき有難うございます。楽しみ

に愛読しています。80歳に届こうとしています。体力づくりとデンマーク刺繍に夢中です。来年は先生の門下生で、銀座で展覧会があり、一生懸命です。私の大好きな言葉。「何事も一生懸命」。(多村洋子)

退職して9年が過ぎました。人生50年と言われた時代を遙かに過ぎて、日本人は老後の30年から40年を如何に過ごすか、新たな時代を迎えています。現在のところ、国のやるべきことが後手後手に回り、私達は苦勞しております。まず体の健康を考え、終わりで動ける体を維持したいと思っています。(山野澄子)

2年間幹事をやらせて頂きありがとうございます。退職後、年々現役の方とお会いする機会が少なくなりましたが、できるだけ若い人と交流したい(相手は迷惑だぞ、などと茶々を入れないで下さい)。「こだま会」と輝かしい県職労の歴史を熱く語りたと思っています。(登 豊吉)

毎年、定期総会、懇親会を楽しみにしております。皆さまにおめにかかれる日を楽しみに。(上野多恵子)

おかげさまで極めて元気です。毎年この総会・懇親会で語り合えるのが楽しみです。総会の議案、頼りにしています。(鈴木公彦)

抗ガン剤治療で昨年10月頃まで入院を繰り返していましたが、今は安定期で元気で暮らしています。オマケの人生。皆さんに会えることを楽しみにしています。(砺波靖夫)

「囲碁」「歴史散歩」に扶けられて無事卒寿を迎えることができました。最近出歩くことが少なくなりました。何となく足首が硬くなったようで、歩きにくい気がします。横浜の街にはたまに行くせい、新しいものを感じます。「こだま会」に行っても知っている顔が少なくなつたようで、ちよつとさみしいです。(山崎重夫)

前立腺の進行ガンが見つかり、1年が経とうとしています。70歳代に入り2年目。体力の衰えを感じるこの頃です。医師は私に、余命10年?と告知しましたが、許されるのなら、3つのこと(サロマ湖百kmマラソン完走・北アルプス槍ヶ岳北鎌尾根を登ること・大学院で公的扶助論を勉強すること)をしたいと思っています。(湯川 勉)

地元の年金者組合で、卓球に励んでいます。「こだま会」にはあるのかなあ。あればやりたいですネ。

(田口 清)

昨年9月より神奈川県職労連の仕事を終え、10月より県公務公共一般労組役員として県職労連本部にいます(再任用職員)。今年4月から自治労連組織拡大専任者(県本部執行委員)としても任務を持つことになり、30万組織建設を進める方針に基づき、特に関連職場、非正規の組織化にとりかかっています。県原水協の仕事も手伝っています。

(片野憲二)

野球と菜園で、多忙な日々を過ごしています。8月28日より宮城県大崎市で開かれる「全日本古希野球大会」に神奈川県代表として出場も決まり、メンバーも充実し楽しみにしています。菜園は30種類の野菜をつくっています。ズッキーニとジャガイモは良くできました。ズッキーニは最近スーパーなどで目にしている野菜です。市販されていない物や珍しくて美味しい野菜づくりを楽しんでいます。

(齊藤孝治)

横浜までなかなか出かけなくなりしました。地元で活動しています。大田区には28の「九条の会」があります。私たちの「田園調布九条の会」(準備会)も、講演会や駅頭での署名活動、お花見などのイベントをし

ながら、毎月『九条新聞』を発行して2年たち、この9月にやっと準備会をとって正式発足する運びとなりました。

(鳥居千珠子)

昨年「こだま会」に入会し、総会に初めて参加しました。今年は2度目です。行事に参加したのは、11月19日から20日の「秋の紅葉・伊豆稲取温泉1泊旅行」。今年も参加したいと思います。

(松本正治)

『会報』が届いた5月24日の日曜日は朝からの雨。畑作物にとっては恵みの雨。連休中に植えた夏野菜は、この雨でいっそう元気に育ってくれることでしょう。ところで「スクラム家族」という言葉は、家族が団結して円満な家庭のことをそう呼ぶものと勝手に思っていたところ、貧富の格差が広がって、若い者が自活できないうちに、いつまでも親がかりの状態のことを言うそうですね。オカシナ社会になってきたものです。

(計良竹次)

知人・友人を増やし、いろいろなことに関心、興味を持ち、範囲を広げ共感を呼び、新しい魅力に巡り会え、小さな発見ができる…。『歴史教室』は講義・散策各2回、年4回実施。初心者大歓迎。元気なお顔をを見せて下さい。心よりお待ちしております。

(佐藤喜治)

『会報』を楽しみにしています。

毎回、読み終わると「元気」になります。

(川田勝利)

グランドゴルフに参加し、交流を深めています。

(柘沢 寛)

一人暮らし。夕方は犬の散歩です。

(川井弘次)

この4月より週3日、働くようになりまし。いつまで続くかわかりませんが、規則正しい生活が出来るようになりました。他の日は、競輪・競馬・ボランテア等、退屈しない日々を送っています。(吉澤靖夫) 戦争のない世の中へ、身の丈で頑張っているつもりです。(宮下 光)

65歳になって、役所から介護保険証が送られてきました。介護保険料は年、7万3800円。負担が増えビックリしました。(鳥居伸太郎)

テレビを買い替える時期になったが、大型テレビ・冷蔵庫等を買うのを誘導するエコポイント。これでは省エネ、二酸化炭素の削減にならない。趣味は登山。昨年は北アルプス五竜岳へ登山中、靴底が剥がれ苦い思いをしました。靴底は接着剤で固めてあるため新品同様のものも数年経つと要注意。心配の方は針金とペンをを用意すること。(佐藤榮一)

脳梗塞で病院から家に帰らず、有料老人ホームあずみ苑にきました。今後ともよろしく願いました。

(原島輝寿)

## 食文化を楽しむ会

### 夏の薬膳料理に挑戦

今回は「夏ばて予防薬膳料理」。7月16日、横浜駅近くの西地区センターに男性3人、女性4人が参加しました。講師は上野多恵子さん(会員)。

メニューは、清熱解毒・夏バテ解消・利尿作用がある緑豆と貝柱入りのご飯、スタミナをつける揚げ豚肉のつけ汁浸し、冬瓜と豆腐黒きくらげのスープ、わかめとトマト、キュウリのおろしあえ、デザートは黒糖寒天のココナツミルクがけの5品でした。

私はキュウリを刻みトマトの皮をむき、大根のおろしあえを作りました。包丁さばきもまあまあでした。

ほうれん草を皿に敷いた上に、揚げた豚肉を汁ごと盛り付けた主采が冷たい白ワインに合い、夏の薬膳料理を楽しみました。(青沼慶祐)



こだま俳壇(7月)

辻馬車の馭者眠たげな由布の夏

鳥海 敏雄

松盆栽残すビールや熱帯夜

白石 為康

葉の裏を見せてザワザワ梅雨末期

湯川 勉

夕螢特攻の悲話浮かび来る

三井 光子

青蛙一輪車に乗り世界知る

井村 友彦

蚊帳の中螢放した日を遠く

鈴木志げ子

韓流の両手の握手梅雨深む

島田多嘉子

新盆や霊を迎へる人もなく

中村 桂子

敗戦日火垂の弧児や今に生く

木村 武子

進化する揚げパン鬻り夏ささす

高橋 和江

逃げ水を追いて真夏の海螢

白井保次郎

夏期講座老いし聴力補す気力

小川 水草

帰省子の寝具揃えて昼寝かな

松尾佐知子

童心に帰りきれざる螢の夜

山本つぼみ

楽しい趣味の会

歴史教室 三浦三崎に頼朝ゆかりの寺社を散策

6月15日(月)、天候は曇り。三浦三崎に頼朝ゆかりの寺社を散策しました。参加者は13人でした。京急「三崎駅」に10時集合。コ



南海神社にて(6月15日)

スは、バスにて東岡⇩海南神社⇩本瑞寺「桜の御所」⇩大椿寺「椿の御所」⇩光念寺⇩歌舞島⇩見桃寺「桃の御所」⇩三崎漁市場(徒歩散策)。講師は中村猪一郎先生です。対岸には北原白秋の詩で有名な城ヶ島を眺めながら楽しい昼食。北原白秋『城ヶ島の雨』

ちようど2日前に、NHKがテレビで城ヶ島について放映と、地元小学生のコーラスを聴いたので、感銘しました。

この三崎は往事、三浦一族の所領で、鎌倉時代に源頼朝につき、鎌倉幕府の成立に大きく貢献した。その場所を散策できたことは、大いに意義がありました。また、みんないろいろ楽しく話し合うことができ、

楽しい1日でした。

それから、知らない土地を方々見ながら歩くことは、健康のため、足を丈夫にし、健康に良いと思われまますので、皆さまも大勢ご参加されると良いと思います。(霜田國樹)

手作り文化祭のご案内

—神奈川自治労連退職者会主催—

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募をとき 09年10月31日(土) ところ 横浜市従会館(桜木町下車) 搬入締切 10月30日(金)午前中にこだま会事務局へ 問合先 こだま会事務局電話045-212-3179

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室(講義)参加自由 テーマ 太平記から「足利尊氏と楠木正成」 とき 9月14日(月)13時30分~15時30分 ところ こだま会事務所がある横浜台庁5階会議室 参加費 無料 講師 中村猪一郎会員 申込先 電話&Fax 045(361)0112(佐藤喜治)
●歴史教室(散策)参加自由 とき 11月2日(月)小雨決行 集合 京急「浦賀駅」改札口10時 コース 開港のさきがけ浦賀港周辺の寺社探訪 申込先 電話&Fax 045(361)0112(佐藤喜治)
●囲碁同好会 月例会(毎月第1日曜日) 9月6日・10月4日 ところ 囲碁サロン「有心」 横浜駅西口大洋ビル6階 会費 700円 申込先 こだま会事務局 045(212)3179 登豊吉045(824)7155 青沼慶祐045(782)7665
●俳句教室 月例会(毎月第3木曜日午後1時~) 旅先での吟行も。初心者歓迎 楽しい句会です。 9月17日 10月15日 ところ こだま会事務所 指導 山本つぼみ先生(阿夫利嶺主宰) 会費 500円 申込先 こだま会事務局 045(212)3179 又は小川政則 042(742)2253
●食文化を楽しむ会(薬膳料理) とき 11月中旬 ところ 横浜市健康福祉センター・調理実習室(桜木町駅前)予定 先生 上野多恵子さん(会員) 会費 1800円 申込先 上野多恵子045(831)8372 亀井禎子045(332)4061 本山文子03(3728)2227

真鶴  
共生舎

# 「木の家」を訪ねて

新井通子

「終の棲家」をどうするかが、友人知人の間で真剣な話題となってきたこともあり、真鶴共生舎の「木の家」を見学してきました。JR「真



鶴」駅から車で約5分、小高い木立の中に建つ木造りの家がありました。

\* \* \*

さまざまな年齢・ライフスタイルの人たちが、個室で自立した生活を営み、共同空間での生活を楽しんでいます。

全館バリアフリーで、広い廊下とエレベーターが、身体の不自由な人の自立も保障しているようです。

建材は自然素材を使い、太陽エネルギーを利用するなど、周囲の自然環境も合わせ、シックハウス症候群の人でも大丈夫と思われれます。

\* \* \*

個室の広さは、36・45㎡(11坪)で、シャワー・トイレ・キッチンがつき手頃な広さになっています。

共同部分には大きな浴室があり、共同の台所、食堂兼会議室の他、ピアノの置かれた広いリビングがあります。

時にはミニコンサートを楽しみ、趣味の会に参加したり、広い硝子戸を通して四季の変化を味わうこともできそうです。

\* \* \*

運営は「真鶴共生舎」の代表・高良真木さんが私財を投じて建設したので、個人となっていますが、NPO法人設立の準備中ということでした。

入居金は112万円(見学時)、毎月の費用に約13万円と驚くような安さですが、食事づくりや清掃は、地元のホテルヘルプ協会に委託しているのによって異なるかもしれません。

一時滞在も可能で、現在の居住者は女性だけですが、男性の利用も受け入れるとのことでした。自然の好きな方、ひとり暮らしがちょっと淋しい方にお奨めです。

「連絡先」

「真鶴共生舎」代表 高良真木さん  
〒259-0201  
足柄下郡真鶴町真鶴1451  
☎・FAX 0465(68)6613

## 語り継ごう 戦争体験



日本軍部の暴走で始まった日中戦争とそれに引き続く太平洋戦争は、アジアと太平洋地域の人々に甚大な損害を与えたとともに、日本国民にも多くの被害をもたらしました。

\* \* \*

戦争が終つてからすでに64年が経ちました。この間、私たちは再び戦争の惨禍が起らないようにすることを決意し、日本国憲法第9条を道標として歩んできました。しかし、その平和憲法を改定しようとする動きが執拗に続けられているのも事実です。

### 戦争体験の風化が懸念

いま、戦争被害の後遺症に苦しんでいる人たちがいる一方で、戦争を体験しない世代が国民の圧倒的多数を占めるようになり、戦争体験の風化が懸念されています。

戦争体験者の「残り時間」も次第に少なくなっています。このような

### 戦争中の体験記を募集します

時期に、私たちが戦争体験を次世代に語り継いでいくことは、日本の平和を守る上で極めて重要と考えます。

そのような観点から「退職者こだま会」では

今年、会員の皆さんの「戦中体験記」を募集することにいたしました。趣旨をご理解の上、奮って原稿をお寄せくださるようお願いいたします。

### 自分史の1ページを書くつもりで

戦争体験といっても、最前線で銃火を交えた経験を持つ人は少ないと思います。そういう体験は貴重ですが、戦争で肉親を失った悲しみ、空襲体験、外地での生活体験、外地から引揚げた時の苦勞、疎開、戦中・戦後の食糧難で苦しんだことなど何でも結構です。

自分史の1ページを書くつもりで執筆し、原稿をお寄せください。

(応募要項は16ページ参照)

# フルーツトマト農園で 援農体験

「こだま会」の援農体験・農業を楽しむ会の活動として7月4日、海老名市本郷のフルーツトマトの温室農園に行ってきました。午前9時半に、小田急線「海老名」駅に集合。タクシー2台に分乗し、現地に到着しました。

## 県史の農業地帯へ



周囲は水田地帯で、目当てのトマハウスはそのまっただ中にあり、田園地帯という名称がまさにぴったりの場所で、県史の農業地帯といえます。予報では曇りのち雨で、傘を

持参の参加でしたが、幸い天候もだんだんと良くなり、晴れ男の筆者の面目躍如(?)であります。

## 都会とは別の小宇宙

ともかくもハウスの中は、生産者の清田さんが丹精したフルーツトマトが撓わに実っており、出荷時期はもう過ぎていくとのことですが、熟した赤い実やこれから熟す青い実が、まるでジャングルのように通路を塞ぐように立ちはだかり、都会とは別の小宇宙を成している感があります。入口で、清田さんから採取する目安や方法を聞き、幹事の井村さんが用意した鋏を借り、トマトのジャングルの中に突入し、赤実のトマトを袋に詰めるのに夢中になりました。

## 生産物を探る喜びで

ハウスの中はやや暑かったが、トマ

# 「戦争中の体験記」 応募要領

- 原稿締切日：2009年11月30日(必着)
- 字数：400字詰め原稿用紙5枚程度。
- 書くのは苦手だけど話すことはできるという方は事務局にご連絡を。
- 戦争体験にかかる詩、短歌、俳句等でもOK。
- 戦争中の写真等がありましたら、思い出を添えてお寄せ下さい。
- 連絡先：045(212)3179 県職労連本部内こだま会事務局(毎週火曜日)。
- \*メールで原稿を頂ける方は下記アドレスへ。  
kodama@kensyokurou.ne.jp

# 絵手紙



奥津弘久さんの作品

トの香に包まれ、生産物を探る喜びで暑さも忘れ、袋の中はあつという間に一杯になりましたが、ハウスの中のトマトは減った気がしないほど残っていました。残ったトマトは廃棄される運命とか。生産システムとはいえ、もったいない話です。終わって、近くのレストランで飲んだ後、解散し、楽しい1日を終えました。(白井保次郎)

# こだま会「料理教室」のご案内 (県職労連壮年部と共催) フロリダ料理に挑戦



と き 10月3日(土)11時~16時  
 と ち ところ フォーラム南太田  
 京浜急行「南太田」駅下車  
 徒歩3分  
 料 理 クレオール料理  
 『シーフードガンボ』  
 講 師 畑喜代司さん(料理研究家)  
 会 費 2千円  
 持 ち 去 オール・エプロン  
 込 申 先 県職労連・中村又はこだま  
 会事務局。045(212)3179

## 〈訂正とお詫び〉

前号8面「北海道スキー」の写真撮影者名を「野沢秀子さん」に訂正しお詫びします。

## 編集 後記

▼猛暑続きですが、みなさんお元気ですか。  
 ▼本号から、広報委員3人(加藤利秋さん・米山東伊さん・吉澤靖夫さん)が退任され、新たに鳥居伸太郎さんと川瀬秀雄さんが加わりました。退任された皆さん、本当にご苦勞様でした  
 ▼現在スタッフは8人。アンテナを高くして充実した紙面をめざします。どうぞよろしく。(へと)